



目白研心中学校・高等学校

令和3年度 同窓会会報 No.30

ご挨拶

会長 稲葉 典恵



皆様いかがお過ごしでしょうか。

同窓会も新体制になり100周年へ向けて出発するべく準備をしていましたところ、新型コロナウイルスウィルス感染拡大という未曾有

の危機的状況となり、皆様も不安な日々を過ごされている事と存じます。普段と全く違う生活様式になり一年以上が経過致しました。3回目の緊急事態宣言も出され我慢の毎日です。ワクチン接種に期待し、早く平穏な日々が訪れることを切に願っております。

また医療従事者の会員の皆様におかれましては、精神的、肉体的な負荷を耳にします度に心が痛みます。身を粉にして働いてくださっている皆様に心より感謝申し上げます。

さて、すでにホームページでもご報告させていただきました通り、昨春秋に行われました令和2年度総会におきまして会則改定が承認され、会場総会を紙上総会とする事ができることとなりました。従いまして、この会報に総会事項を掲載させていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

総会の変更に伴い、例年5月に発行していただきました会報を7月にさせていただきます。今後はできるだけ会報を毎年お届け出来ますように、頑張つてまいりたいと思っております。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大により、予定していた行事が延期になったり、中止しなくてはならない状況になってしまいました。

今年度もまだ先が見えない状況でございますので予定が立ちませんが、会報発行、住所変更作業など同窓会としまして、学校と協力しながら進んでまいりたいと思

います。住所変更ですが毎年変更届に記入不足がありどうしても変更できない方がいらっしゃいます。確実なのは卒業コード番号を書いていただく事です。卒業コード番号は会報をお届けしております宛名シールのお名前の下に印刷されております。また変更についてをお願いはこの会報に掲載させていただきましたので参考にさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

本年3月の新卒業生におかれましてはコロナ禍ではありましたが、学園の関係者の方のご尽力により、規模を縮小し卒業式を挙行することができました。同窓会としましては本当に嬉しく思います。

目白学園の長い歴史の中で卒業式が行えなかったのは終戦間際の昭和20年と、昨年の令和2年だけでございました。今回の会報にその卒業式ができなかった唯一の学年であります昭和20年卒業の高橋様と、令和2年卒業の伊東様に原稿を書いていただきました。また、間もなく100周年ということで歴史を語っていただこうと、戦前の昭和16年の卒業の辻様にも原稿を書いていただきました。辻様におかれましては関東大震災の前年、大正12年お生まれの97歳でございます。私達が歴史の教科書でしか知らないような、今とは全く違った壮絶な時代を過ごされてこられました。このような大先輩の元気なお姿に私をはじめ同窓会役員一同も大きな力をいただいております。

中学・高等学校は長い歴史がございます。長い歴史があるということは、それだけ長い人生をお過ごしの方がいらつしゃるということです。どうかその歴史の一部を会報で紹介いただきたいと、今後同窓会から皆様にお願ひ申し上げることもあるかと存じます。またそんなご縁を大切にしていきたいと思ひます。その節は是非ご協力いただければありがたく存じます。

苦難の中ではございますが、まずは2年後の創立100周年に向かつて頑張つて参ります。

今後とも同窓会にご理解、ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

困難を乗り越えて

理事長 尾崎 春樹



夏の暑さが本番を迎えようとしている中、同窓生の皆さまは、お変わりなくお過ごしでしょうか。都下では、昨年からは続く新型コロナウイルスの流行も、残念ながら収まっておりません。通常であれば、同じキャンパスで活動する大学生・短期大学生を圧倒するような、目白研心の生徒さんの明るい挨拶の声が響き、私たちが元気にしてくれるところですが、現在は、部活動も思う存分にできる状態ではないため、彼らの生き生きとした声を聞けないのが寂しいところです。また、運動会・合唱コンクールなどの学校行事だけでなく、授業でも、ウイルス感染を防ぐための様々な制約を受けていますが、生徒の皆さんも教職員の皆さんも、新型コロナウイルスの流行が収束に向かい、もう一息で日常の学校生活を取り戻せることを信じて、精一杯頑張っているところです。

振り返りますと、目白学園（中学校・高等学校）の前身である研心学園が大正十二年に創設されてから九十八年が経過し、百周年まであと二年です。また、学校が共学に移行してから、早くも十二年が経過し、現在では、在籍する女子生徒が五十五%と、男女半々に近い状態になっています。さらに、高等学校を中心に在学生の数が増加を続けており、目白研心で使える教室・職員室を増やすために、大学が使用してきた七号館の一部改築に着手しており、来年度からの使用開始を目指しているところです。

目白研心の生徒さんの特長は、素直で明るく元気なところです。それだけでなく、松下校長のリーダーシップのもと、教職員

の皆さんの奮闘と生徒の皆さんの努力が実り、着実に学力を伸ばしています。大学進学実績は確実に向上しており、週刊誌などでも取り上げられています。このような好調な実績も、生徒増の背景にあらうと受け止めています。

現在、学校の教育内容は大きな改定期を迎えています。中学校では本年度から全学年一斉に、また高等学校では来年度の新生から新しい教育内容に移行していきます。主な変更点は、英語教育やプログラミング教育の強化などですが、それだけでなく、全教科にわたって、自ら課題を見つけ、考え、その結果を表現できる力を身につけることを目指して、「主体的で深い学び」の実現が強く求められおり、先生方もこの新しい形の学びの実現に向けて研さん努力を重ねているところです。

一方で、国が主導するIT活用学習（ギガスクール構想）については、昨年来の新型コロナウイルスの流行の影響により在宅のオンライン学習の必要性が高まったため、全国的に当初のスケジュールを早めて、本年度から取り組めるよう環境整備が進められています。しかし、目白学園では、全国に先がけて、昨年の春の段階で、家庭のオンライン学習の環境を整えるため、数万台のタブレット端末の無償貸与に踏み切りました。また家計の事態急変により、生徒の学業が挫折することのないよう、緊急支援奨学金などの措置を講じて来ました。この奨学金の実現に当たっては、同窓会からも支援金を頂戴しました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

目白研心中学・高等学校同窓会は、田中前会長の長い間のご苦勞、ご尽力を経て、稲葉新会長のもと、新しい運用体制づくりに取り組んでおられます。今後とも同窓会と我々法人とが二人三脚で目白研心の発展をサポートできれば、これに勝る喜びはありません。これまでの篤いご支援に感謝いたしますとともに、今後とも母校をお支えいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

校長 松下 秀房



同窓生の皆様、コロナ禍の中お元気でご活躍のことと拝察致しております。稲葉会長はじめ皆様方には、常日頃から母校の発展にご支援いただきまして心から感謝申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、中学校・高等学校教育も未曾有の対応を迫られております。「学びを止めない」という考えのもと、オンライン授業・分散登校・目白大学教室での授業と創意工夫を重ねながら生徒一人ひとりの成長を支援してきました。本年もコロナとともに歩む年になりますが、中高生あわせて314名の新しい「目白人」を迎えて、例年通りの新学年・新学期が始まり活気に満ちています。

さて、母校は大正12年（1923年）に弱冠35歳の佐藤重遠先生の情熱に揺り動かされながら産声をあげてから98周年にあたり、2年後に創立100周年を迎えます。本校の黎明期は、明治初年から築いてきた近代教育制度を拡充して、国民教育として確立するための議論が活発化した「大正デモクラシー」と称される時期でした。その後、日本の発展とともに歩み関東大震災や第2次世界大戦など幾多の試練を乗り越え、研心学園創立を

端緒に、目白商業学校、目白女子商業学校、桐ヶ丘中学校、目白学園中学校・目白学園高等学校、目白研心中学校・高等学校と変遷して今日に至っています。その間、巣立っていった卒業生の数は、凡そ3万8千名にのぼっております。

ここで、令和3年度の現状を報告させていただきます。生徒数は中学127名、高校791名の計918名で、中学の新入生数は厳しい状況が続いていますが、高校は定員を超えて安定しております。クラス数は中学7クラス、高校27クラスとなり、5号館と9号館だけでは教室が不足して、4号館の4階の3教室を選択授業用として使用しています。教員は専任56名、講師41名となっています。生徒数・クラス数・教員数とも増加傾向で、学校全体が活気に満ちています。大学合格実績は、国公立大3、難関私立大77、中堅有名私大186、医療系大38など合計744でこれまでの最多数になりました。詳細はホームページをご覧ください。コロナ禍で苦戦が予想されましたが、先生方の適切な指導のもと生徒ががんばり本校の新しい歴史を作ってくれました。今後とも生徒の第一志望進路の実現に向けて指導を徹底していきます。私立学校を取り巻く環境は年々厳しくなっていますが、時代を読み取る先見性と変化を進める実践力をもって、評価される私立学校として鋭意努力していく所存です。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度総会の開催

同窓会会則第13条により「令和3年度目白研心中学校・高等学校同窓会総会」を紙上総会とさせていただきます

●令和2年度 事業報告

- 4月 入学式新型コロナウイルス感染拡大の為中止・令和元年度決算書、令和2年度予算案作成
会計監査
- 5月7日 同窓会会報を発行
- 5月11日 令和2年度同窓会総会延期、懇親会中止を決定し、お知らせをHPにアップ
- 7月8日 「新型コロナ支援金」に対する学園からの感謝状贈呈式
- 7月10日 コロナ支援金贈呈式の様子をHPにアップ
- 9月18日 同窓会総会のお知らせと桐陽祭の中止のお知らせをHPアップ
- 10月25日 令和2年度同窓会総会（中学高等学校大会議室にて）
- 10月27日 100周年寄付金の趣意書について学園総務部と打ち合わせ
- 11月2日 同窓会総会の様子をHPにアップ
- 11月19日 同窓会会則改定版をHPにアップ
- 3月5日 同総会入会式、新役員決定・紹介
- 3月6日 卒業式（生徒のみでの挙行のため同窓会より電報と記念品を贈る）
- 3月12日 入会式様子をHPにアップ

その他、住所変更入力作業、会報に関わる作業、中学高等学校事務室や学園との打ち合わせ等、必要に応じて役員会や活動を行っております。

●令和2年度決算報告、監査報告、令和3年度予算案（同封の別紙にて報告させていただいております）

●令和3年度活動報告

会報発行、住所変更作業、その他感染拡大状況を踏まえ学校と協力しながら活動してまいります。

●令和3年度同窓会役員は次の通りです

役員				卒業生新幹事			
会長	稲葉 典恵	会計	中島 亮子	幹事	石井 大翔		嶋田 素実
副会長	大塚千恵子		浜口 瞳		岡田 千穂		根岸 玲奈
	中島 亮子	監査	白岩 寛子		板橋 壮		田畑 実佑
	平井めぐみ		松本 三貴		笛木 大和		澤向 翔
事務局長	大塚千恵子	理事	森下 里美		武岡ひなた		高橋慶一朗
副事務局長	安島利佳子		千葉 奈々		川本 拓実		三浦日菜子
事務局	國府 里佳	幹事	伊東 翔太		比留間明日香		伊藤 逸生
	志澤佳奈未				上田 莉香		藤堂さくら
	蔵田 真有				三富 陽菜		野村 卓矢
	中島 佑子				武藤梨香子		高橋 真凜
	中村 莉久						

●卒業生新幹事のひとこと

新役員リーダーの石井大翔です。コロナ禍でオンライン授業が多く、大学に行けず残念ですが将来の夢のスタートラインに立ち、夢に向かって楽しい大学生活を送っています。より良い同窓会になるように役員活動のお手伝いを努めさせていただきたいと思っております。よろしく願い致します。



令和3年度 新幹事が卒業式前日の入会式にて紹介されました

令和2年7月8日
目白研心中学校・高等学校へ同窓
会より新型コロナウイルス支援金
を贈呈しました

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言のため、昨年は新年度早々学校閉鎖を余儀なくされ、私達同窓会といたしましても心が痛みました。

学校では5月に必要な全生徒にタブレットの貸し出しをし、オンライン授業を行うなど、生徒の学習体制確保に先生方も全力を尽くしてくださいました。

学校玄関入口に熱を感知するサーモカメラを導入し、6月より中学・高等学校の校舎に加え、大学の校舎を借りての分散登校も始まりました。

そしてようやく7月に入り、ガイドラインに沿ったソーシャルディスタンスを守りながらの授業が再開されました。

この未曾有の危機に対し、同窓会といたしまして、目白研心中学校高等学校に対し「新型コロナウイルスに伴う学生・生徒

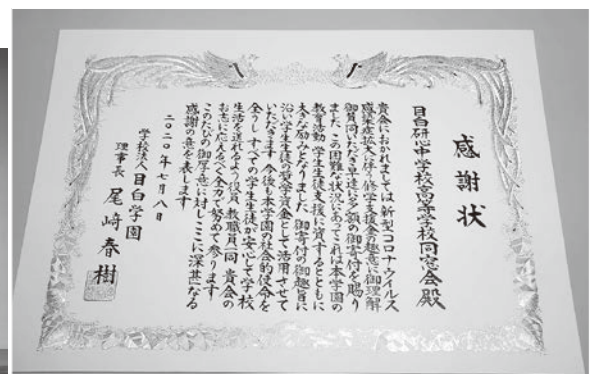
の教育支援金」として皆様の会費の中より100万円をご寄付させていただきました。

この支援金贈呈に関しましては、「目白大学同窓会」「目白大学短期大学部校友会」そして「目白研心中学校・高等学校同窓会」という目白学園の3つの同窓会組織が一丸となり、それぞれの所属する学校に100万円ずつ贈らせていただきました。

支援金の贈呈式は7月8日（水）15時より、本館5階ポードルームで行われ、各同窓会の会長より尾崎理事長に目録が渡されました。これに対し学校からは各同窓会に感謝状が贈られ、大学、短期大学の両学長、そして中学校・高等学校の松下校長先生より謝辞をいただきました。

今年度は新年度より学校は通常授業に戻りましたが、まだ新型コロナウイルス感染拡大は収束はしておらず、何より生徒達が楽しみにしていた学校行事が例年通りに行えない状況です。

同窓会といたしましては、この支援金が少しでも生徒の皆様の役に立ちます事を切に願っております。



学校からの感謝状



贈呈式の様子

同窓生からのお便り

目白商業学校時代の想い出

昭和16年卒業 辻 正男



目白学園の創

立100周年があと2年となりましたことは、誠にめでたく、また私自身が老体乍ら、一応元気にそのことを実感できたことを心から嬉しく思っております。

私が目白商業学校に入学したのは昭和12年でありますから、約84年前になります。その年は日中戦争（大東亜戦争）が始まった年でありました。卒業は昭和16年3月であり、その年の12月8日に日米が開戦するという年でもありました。（太平洋戦争）

当時の諸事情を申し上げますと、昭和13年に国家総動員法の発令、また西欧では昭和14年イギリスとフランスがドイツに宣戦布告、昭和15年9月27日には、アメリカの牽制を目的とした軍事同盟である日独伊三

国同盟調印。我が国では大政翼賛会発足で一国民党となり、11月には紀元2600年記念大会が宮城前広場（皇居外苑）で盛大に行われました。また食料物資も徐々に国民生活に影響しつつありましたが、主食である米穀が配給制度になったのは、私が目白商業を卒業した昭和16年の4月からでした。

このように内外の諸状況は世界大戦へ確実に近づいていました。しかしそのような緊迫した状況にあつたにもかかわらず、当時の私は気楽に学生生活を過ごしております。今思いますと誠に申し訳ない気持ちでございます。卒業した年の昭和16年11月26日にアメリカのコーデル・ハル国務長官が日本に対してアメリカ側の最終案の交渉文書である「ハル・ノート」を提示、これにより※日米交渉（末尾に注釈）は決裂したのであります。そして12月1日の御前会議においてアメリカ、イギリス、オランダとの開戦を決定したことにより12月8日、我が国が米国ハワイ湾（真珠湾）の奇襲攻撃で戦争状態となり太平洋戦争が開戦、急速に戦時非常態勢になったと思っております。

目白商業学校へは、西武鉄道線の始発駅

の高田馬場駅から乗車し2駅目の中井駅で下車し、4、5人の同級生仲間と楽しく話し合いながら通っております。（現在の西武新宿線で当時は高田馬場、東村山間しか運行していませんでした）中井駅からは少々上り坂の、樹木の茂る静かな住宅街を通り抜けて、正門に到着するという毎日でした。

入学当時の印象に残る教科では、柔道と剣道を選択いたしました。剣道場は学校正門を入って左側にあつた大講堂でした。先生は剣道5段の興梠先生で、とても厳格な先生でした。生徒は防具をつけて号令のもと、床板上に正座したので、徐々に足がしびれていき苦痛でした。そこで一段高い講堂壇上に掲額してある、床次竹二郎先生（創立者夫人で第2代理事長佐藤フユ先生のご尊父）がご揮毫された「主・師・親」についての講義をいただきました。終わって「起立」の先生の号令で私たち生徒は立とうといたしました。膝と言うか足が痺れて感覚がなく立つことができず、生徒全員がひっくり返ってしまったことが忘れない印象として残っております。

もう一つ印象に残っているのは、大変熱

心な西洋史の先生の講義でした。内容は紀元前の時代、第二次ポエニ戦争でのローマとカルタゴの争いについての講義でした。カルタゴ軍のハンニバル將軍がローマを指して軍事境界線を越え、数々の歩兵騎兵と象37頭の大群が、積雪のアルプス山脈を15日間で苦勞の末に山越えに成功、ローマ軍を破った激戦の様を、教壇上を右に左にゆっくり移動しながら、熱弁を振るわれた先生の講義が今でも強い印象で記憶に残っております。

毎年秋に行われる全校運動会では、広い運動場で全校生徒が白組と赤組に分かれて点数を競い合い勝敗を決めるのですが、その時の白組の応援歌の文言が特別で

「御霊神社の神主が！祝詞をあげて申すには！いーつも白色が勝ち！勝ち！勝ち！勝ち！勝ち！」

と声を揃えて大声援をした事が今でも記憶に残る楽しい思い出でした。

大正、昭和、平成、令和と生き、日本の近代史の中で変化の大きかった時代の尊い経験をさせて頂いたと思っております。戦前の豊かな時代を過ごし、戦中は学徒出陣し、生命をかけ死を見つめての2年間、そ

して戦後の耐乏の時代を過ごし、さらに繁栄の時代を経験致しました。現在は家族や地域と社会の方々のおかげで平穩の日々を過ごさせて戴いて居る事を嬉しく心に受け止めております。これが私の「生きた証」だと思っております。



同期学徒出陣した仲間と私
(昭和20年正月)



学徒出陣で入營の前日、出陣する友残る友私
左から2人目(昭和18年11月30日)



入隊5日目多忙！三列目右から4人目私
(千葉県柏市、東部102部隊広野隊 昭和18年12月5日)

※日米交渉

太平洋戦争前の昭和16年4月から12月8日の開戦までに、日本とアメリカの間で日米開戦の回避を目指して行われた交渉。日本側は駐米大使の野村吉三郎、アメリカ側は國務長官コーデル・ハルとの間で約50回にわたって行われた。しかし日本の中国大陸、東南アジアへの侵略をめぐり見解の溝は埋められず、開戦となった。

私の目白商業時代

昭和20年卒業 高橋 喜久昭



小生、高橋喜久昭は昨年12月1日に丁度94歳になりました。

目白商業入学の頃は軍国主義全盛の時に、皆我々学徒は軍国少年で育ちました。そのような時代です。小生も陸軍幼年学校を受験しましたが力が足りず不合格となりました。

当時私の家族は、東京都新宿区西大久保（現在は大久保）に住んでおり、新大久保駅より高田馬場経由で中井で降り、目白商業までの落合の上り坂（通称地獄坂）を、ふうふう言いながら通ったものでした。

正門では上級生が検問所みたいに眼を光らせていて、遅刻した場合全校生徒の前でお詫びしなければならぬほど厳しいものでした。

目白商業は本当に自然に恵まれて、校庭の奥は花壇があり、いろいろの花が咲いていました。当時の目白商業はスポーツが盛んで、柔道、剣道は全国的に有名でしたが、特に野球は日大三中、早稲田実業と共に三強と言われるほどでした。

やがて戦時体制になり教練に明け暮れ、

軍人の配属将校が来て三八式歩兵銃で、みんな射撃練習をしたと思います。まもなく太平洋戦争が始まり、我々は勉強どころではなく、工場に学徒勤労動員に行くことになりました。

私の家は静岡の草薙に疎開し、東京の家は両親のみ残りしました。下町を中心とした昭和20年3月10日の東京大空襲では無事でしたが、5月10日の空襲の時に焼夷弾で私の家は全焼しました。

私は疎開先の静岡商業へ転校しそこで卒業となりましたので、新宿の目白商業で卒業証書をいただく事はできませんでした。それが残念でなりません。終戦間際でしたので、おそらく同級生はほとんどがそのような状況であったと思います。

卒業後は法政大学に入りましたが戦時中であつたため、私は南多摩の稲城市長沼にあつた東京第二陸軍造兵廠多摩製造所に勤労動員されました。そこは黄色火薬（下瀬火薬）の製造の勤労奉仕で、火薬を扱うため不注意で落とさないように緊張して作業に取り組みました。そこで8月15日に終戦をむかえました。思えば当時の私の人生は有為転変で、全ては想像出来ない変化変化でした。戦中は常に生命の危険と隣り合わせで、戦後は衣食住に困窮し、明日も知れぬ状況でした。ですから今の目白学園の

皆さんは自然災害が多い時も苦しい時も、人道的に悲惨な時代とは違って、生命の危険はないので幸せなのかもしれません。目白商業は後に女学校になり、男子校ではなくなつてしまつたので、一寸寂しい気持ちもあります。

現在は妻は他界しましたが、家族や特に孫娘に支えられ穏やかに余生を過ごしております。小生も加齢と共にだんだんと足腰が弱くなり、同窓会に出向くことはできませんが、同窓会の発展と、皆様の健勝を祈つて筆をおきます。

◆事務局よりお願い◆

高橋さんは昭和20年卒業です。同級生の方と連絡をとりたいと思つていらっしゃいます。もしも同級生の方で高橋さんにご連絡先をお知らせしてもよろしい方は、同窓会までご一報下さい。



前列右から5人目が小生

思い出深い教室の卒業式

令和2年卒業 伊東 翔太



初めまして。昨年度目白研心高等学校を卒業致しました。伊東翔太と申します。私たちの代は、新型

コロナウイルスの影響で、卒業式を挙げる事ができず、各教室で放送により、表彰を行いました。兼ねてより心待ちにしていた卒業式が挙行できないということ、卒業間近に耳にした時は、残念という気持ちと同時に、「卒業日に学校に行けるだけありがたい」という気持ちになりました。もしも学校に行けずに、そのまま卒業ということになっていたら、「残念な思い出」として引きずってしまっていたことでしょう。実際に卒業式の式典は挙行できずとも、苦楽を共にした仲間たちと思い出を懐かしんだり、今後の抱負を語り合ったりと、充実した卒業を迎えることができました。卒業から数ヶ月経った現在でも、特に印象に残っていることは、部活動の仲間との別れです。私は高校時代サッカー部に所

属しており、同期の仲間たちと3年間、辛い時も楽しい時もそれらを共有し、互いに支え合ってきました。そのような仲間たちに明日から会うことが出来ないと思うと、卒業当日は胸が苦しかったです。そのような彼らと卒業式を挙行出来なかったことは残念ではありますが、今でも会った時は、当時のことを懐かしみ、話が盛り上がることもしばしばあります。

現在は、大学生としてまた新たなスタートを切っています。しかし、依然として新型コロナウイルスの脅威は去っておらず、大学生活も大きく影響を受けています。学校に通えない日々が続く、毎日自宅でパソコンと向き合っていると、「果たしてこのまま大学4年間が終わってしまうのではないだろうか」という不安な気持ちになることが多々あります。実際に入学から約8ヶ月経った現在でも、学校には週1日しか通えず、それ以外は自宅でオンライン授業を受けるという形式なので、やはり勉強面での不安とともに、友人関係の不安も生じてきます。しかし、このような状況だからこそ出来ることというのもあると思います。例えば勉強面では、資格取得のための勉強など、自宅学習で時間がある時に、学

校の勉強以外の勉強の時間を取る事が出来ます。また、趣味の面で考えると、新型コロナウイルスの影響で自宅にいることが多くなったので、新たな趣味を見つけ、それらに没頭することが出来ました。このように、現在も依然として新型コロナウイルスの影響は受けていますが、ただ悲観的に考え過ぎているのではなく、前向きに考え、日々大学生活を送っています。

最後になりますが、私は、この目白の歴史において、卒業式を挙行できなかった2回目の代です。1回目は昭和20年の終戦直前、そして2回目、令和2年の新型コロナウイルスの影響により、挙行出来ませんでした。ですが、その事実も含め、今では思い出として深く私の頭に刻まれています。まだまだ世の中は暗いニュースで溢れています。決して下を向くことなく、前向きに日々過ごしていきたいです。



二〇二〇年度総会の開催の様子

昨年十月二十五日(日)に、令和二年度同窓会総会が行われました。例年六月に行われる同窓会総会及び懇親会でしたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の状況を鑑み、総会を十月に延期とし、懇親会を中止とさせていただきます。

総会では、活動方針、事業報告、予算案、決算報告などを行いました。特に昨年度は、会則改定についての提案をし、承認をいただきました。

今回の会則改定では、左記の二点について提案しました。

- ①旧会則では、会員を卒業生は普通会員、すべての教職員と旧教職員は特別会員としていました。個人情報保護の観点から、「普通」「特別」という括りを撤廃し、会員をすべての卒業生のみとする事。
- ②総会を毎年六月の第一日曜日に開催していましたが、総会出席者の減少や役員の負担から毎年会場開催が困難なため、紙上総会に代えることも可とする事。

(新会則はホームページに掲載されております)

総会には、令和2年に卒業した新役員も参加しました。今後ともよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式や、ライフスタイルの変化など、時代の変化に合わせて同窓会も活動してまいります。今後とも、同窓会をどうぞよろしくお願いいたします。



総会の様子



総会には、昨年度本校を卒業した新役員も参加して下さいました！卒業式が中止となり、今回は初の顔合わせでしたが、若い力に頼もしさを感じました。

研心ミニレター

（昨年の総会ハガキのことより）



◆昭和三十年度卒業

E・I

卒業から65年になりました。年と共に学校生活を懐かしく思い出す日々が多くなりました。3年位前までは中学の時から仲良しグループで逢ってはお茶していましたが、この頃は逢う事もなくなりました。学校の発展を楽しみにしております。

◆昭和三十一年度卒業

Y・K

今年で82歳、元気で過ごしています。目白学園での学校生活とても懐かしく思い出されます。楽しかった事などよく孫に聞かせていました。そんな孫も今年で社会人になりました。

◆昭和三十二年度卒業

T・K

いつも会の為にお働き有難うございます。一昨年友人を中心に横浜にてクラス会を致しました。15、6人の会でした。皆様良い人生の越し方をしていっしょにしました。

◆昭和三十四年度卒業

M・K

総会のご案内を頂きまして誠に有難うございました。自粛と巣ごもりの日々を過ごしますが20年ぶり位の総会に出席してみたくありません。そして歩けるうちに母校を訪れることができたらとても幸せに存じます。

◆昭和三十四年度卒業

M・S

卒業して60年余、いまだに当時の先生方と縁ある後輩の方々と年に数回目白会を開いて和気あいあい楽しい時間を過ごしております。同窓会のご発展を心からお祈り申し上げます。

◆昭和三十五年度卒業

M・S

孫が3才と小学生になりました。別区内に住んでいる小学1年生の孫とはウィルスの影響でビデオ電話で笑顔をもらっています。元気に過ごしております。

◆昭和三十五年度卒業

K・S

後期高齢者ですが運転をしてパソコン教室と書道教室に通って何とか頑張っております。目白学園益々のご発展をお祈り申し上げます。

◆昭和三十六年度卒業

K・K

昨年ひさびさに卒業後行ってみてあまりに変わっていたので在中時あった田形校舎、広い林の下で先生方と勉強したのが懐かしく帰って来ました。

◆昭和三十七年度卒業

T・S

昭和37年卒業 早いもので77歳になりました。ある日地元のイベントで目白研心と記入された方がいました。目白学園ですか？そうです！名前が変わられたのですね。円形校舎はどうなったのかしら？なんだかうれしく、その日一日はウキウキしていました。いつもありがとうございます。

◆昭和三十八年度卒業

S・O

昨年の十月までアパレルの仕事をしておりその後、主人が営む小鳥店を手伝いながら専業主婦をしています。来月には76歳になります。高二、高三と美術部の部長として学業より頑張っていたことが思い出されます。今でも絵を描くことが大好きです。

◆昭和四十年卒業

M・N

今年は新型コロナウイルスの騒ぎで家に居て外出自粛、新緑の季節でいつものように花が咲き、陽光を浴びて木々がキラキラ輝いています。一日も早い収束を願わずにいられます。皆様どうぞ負けなさいください。

◆昭和四十一年度卒業

F・M

97才になる姑の介護で日々過ごしています。コロナがこんなに長く収束できずにある為、欠席させていただきま。本来なら卒業しても今日まで、8名で交流のある人達と出席したかったのですが残念でなりません。学校の発展を願っています。いつもありがとうございます。

◆昭和四十二年卒業

C・H

おたよりの昭和42年卒業が誰もいなかった為、淋しくなり書かせて頂きました。同じ42年度卒業の方々は今だにお付き合いです。ただいける方も何人かあります。皆、歳は取りましたが元気で頑張っています。

◆昭和四十二年卒業

I・K

毎年哲学堂の桜を（中野駅から北野神社を通り）車から見えています。その次には目白学園を一周して、あまり学校が素敵に変わってしまっていて迷子になりました。必ずこのコースは毎年行っています。通学路の「坂」の名前もいろいろあるんですね。（バス通学でした）

◆昭和四十三年度卒業

I・Y

目白学園から目白研心、男女共学となり少子高齢化により私立中高には難局の時代、高い進学実績に嬉しく思っております。創立百周年を目の前にさらなる向上を期待しております。中高の友人との会食もコロナウイルスの為延期になってしまいました。残念!!

◆昭和四十五年卒業

M・I

いつもお世話様です。二〇一九年十月に久々に当時の旧友と目白学園へ訪れました。大変懐かしく思い感動いたしました。長い年数を経て今に至っておりますが、当時の事を思い出して新鮮な気持ちでした。

◆昭和四十六年度卒業

K・S

コロナウイルスで世界が変わってしまいました。家でのオンラインで外出しなくても普通になってくる時代となり便利なようで少し不安です。

◆昭和四十七年度卒業

Y・K

学園を卒業して、約五十年くらいになりました。同窓会のお知らせをいただき懐かしく思い一度学園を見せていただきたいと思います。

◆昭和四十九年度卒業

C・O

懐かしい円型校舎を建て替えてから一度伺いたいと思っておりますが何年たちますでしょうか。高校のころは運動部ではないのですが演劇部だけ混じり夏休み合宿があり円型校舎の屋上に寝そべり星を見た思い出忘れられません。

◆昭和五十年年度卒業

K・T

目白の中学三年間木造のポツンとあったクラブのクラブ部屋、高校の先輩達と毎日楽しかったなあ〜って今でも思い出します。先輩に可愛がられ・・・50年も前の話です。

◆昭和五十一年度卒業

S・Y

同窓会会報の同窓生からのおたよりの所に懐かしい同窓生の名前を見つけ嬉しくなりました。

◆昭和五十二年度卒業

Y・M

新型コロナウイルスが蔓延する中、会報が届きました。長男夫婦はフランスパリ在住、6月には初孫が産まれる予定です。手伝いに行く事ができなくなり心配がつきません。HP開設との事、早速拝見致しました。すっかり忘れていた校歌ですが、「武蔵野遠く春来れば・・・」自然と歌えた事に驚き当時の懐かしい思い出が蘇りました。うれしい気持ちに・・・ありがとうございます。

◆昭和五十三年度卒業

T・M

卒業後、看護学校へ入り国家試験に合格し、その後もずっと看護師として現在も働いております。新型コロナの事も有り医療は大変な状況となっております。早くこの状況が落ち着き、改善する事と皆様のご健康を祈ります。役員の方々ご苦労様です。今後も宜しくお願い申し上げます。

◆昭和五十六年度卒業

K・Y

いつもありがとうございます。思い出すのは各教室にピアノが一台ずつあり合唱コンクールに励んでいた事。還暦を目前にして卒業アルバムを開いてみました。懐かしい先生方、お元気でいらっしゃいますか？

◆昭和五十八年度卒業

Y・H

55歳になった今も目白学園時代の友だち数人とお付き合いが続いています。当時の話が昨日のように話せる友、やはり宝物です。

◆昭和五十九年度卒業

H・O

すばらしい会報ありがとうございます。HP開設おめでとうございます。修善寺に嫁いで20年以上が過ぎ田植、お茶摘み、パートの日々、長男大学3年、長女高一、同居の義母の世話と日々忙しく過ごしております。いつかは、同窓会に参加したいです。

◆昭和六十年年度卒業

K・K

卒業より35年以上が過ぎ、母としてもそろそろ一段落を迎える頃となりました。お世話になった先生方もほぼ退職され遠くに感じる母校ではありますが、学業では実績をつまれて頑張られている学校の姿を拝見すると、とても嬉しくなります。益々のご発展をお祈りいたしております。

◆昭和六十一年年度卒業

T・S

二〇一九年私も結婚しました。コロナウイルスの蔓延のため中々引越越しできません。それでも小さなしあわせを感じて日々過ごしております。世界が一日も早く平和で安心な日々を取り戻せるように祈っております。



◆昭和六十三年年度卒業

K・H

昨年、約30年ぶりに桐陽祭に伺いました。学園が共学となり、校舎も新しくなりましたが、当時のお世話になった先生方が自身の事を覚えてくださり、これからの人生において、とても大切なお話をしていただきました。思い切って学園に足を運んで良かったと心から思いました。

◆平成一年度卒業

T・M

息子達は二人共大学生になり少し楽になれるかな、と思っておりましたがコロナウイルスの感染拡大があり介護職員として働いているため心体共に落ち着く暇もなく過ごしております。その様な時でも目白での高校・短大での楽しかった時間は今も私の人生の軸となり生かされていると思っております。松本雪子先生、長い教員生活本当にお疲れ様でした。



◆平成二年度卒業

K・U

コロナの影響で生活が大きく変化しました。小3の子どもと共に色々な事をしようと思いつつも勉強だけで疲れてしまふ・・・という日々。日常のありがたさ、普通という当たり前の大切さを感じました。

◆平成四年度卒業

T・K

姉妹5人が通った目白学園。ますますの発展をお祈り申し上げます。娘が小学校5年生となり、受験を意識するようになりました。本年度は学校見学に参りたいと思います。

◆平成五年度卒業

Y・T

息子も1歳になりいろいろコミュニケーションもとれるようになり育児の楽しさを実感しています。TVで後輩の中村アンさんの活躍を見るのが楽しみな毎日です。

◆平成六年度卒業

F・F

今回は会報が同封されていて楽しく読ませて頂きました。今年はコロナで厳しい状況ですが、来年以降友人に声をかけて一度同窓会に参加してみたくなりました。役員の方も負担など大きいと思いますが毎年ありがとうございます。

◆平成八年度卒業

H・I

ついに神津先生も退職されたのですね。お疲れ様でした。早いもので四人目が年中となり、子育ても少しずつ落ち着いてきました。アットホームな校風は変わらずに、一方、ますますの学園の発展を祈っております。

◆平成九年度卒業

Y・H

娘が受験生となり昨年の桐陽祭を見学に行きました。懐かしさ半分、様変わりした学校の様子にさびしさも半分の不思議な感覚でした。久々に読み応えのある会報でした。ありがとうございます。益々のご発展を祈念いたします。

◆平成十四年度卒業

T・S

今年の1月に仕事で目白へ行く機会があり十数年ぶりに校舎へ入りました。思い出のあの長い下駄箱はなく、そこには新しい校舎。変わった様子が少し寂しくも感じましたが、たまたまお会いした中一の頃の先生が変わらずにいらっしまった事がとても嬉しく、当時の先生方6名中5名が、わざわざ会いに来てくださり感激。今年の桐陽祭へ行くことに決めました。

◆平成十七年度卒業

S・K

ステイホーム、海外で生活する友人や留学先の家族のことを想う日々です。書類整理をしたので、中・高時代のものも出てきました。今も地図帳や世界史のテキストを見たりしています。図書委員になり沢山の本や勉強を色々な方向からみる事ができてよかったなと思い出しました。皆様のご健勝を祈っております。

◆平成二十年度卒業

M・M

結婚し東京を離れ早3年目、東京に居る皆(友人、先生方)がコロナ対策で大変な状況に心配です。又、東京にもコロナが無くなり、元気な空気や経済がまわれば都内や目白研心へ足を運び、今の雰囲気を見に行きたいですね。楽しく過ごされている生徒たちや先生方にお逢いしたいものです。

◆平成二十一年度卒業

F・E

娘が1歳になり、歩き回るようになりました。4月に保育園入園、私も復職予定でしたがコロナの影響で延期になりました。目白の友人の結婚式も延期になりました。目白の友人の結婚式も延期になり早くコロナの終息を願うばかりです。それまで娘との時間を大切に過ごそうと思います。



◆平成二十五年卒業

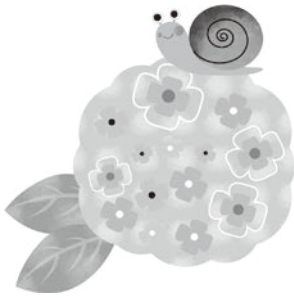
M・K

社会人4年目に突入しました。お世話になった先生方が毎年少しずつ退職されて悲しいです。中・高と、かけがえのない青春を過ごした自白。辛いことも楽しいこともあったけれど大好きです!!♡

◆平成二十八年卒業

A・A

コロナウイルス感染拡大の影響で卒業式、入学式は出来ませんでした。4月より首都圏エリア配属の三菱UFJ信託銀行採用の社会人として自宅にて在宅ワーク中。関西から東京に戻り自白研心が懐かしいです。



◆平成二十九年卒業

S・I

薬学部四年生に進級し現代社会の疫病について考えさせられる日々です。学内では次世代の医療への発展や促進に務め日常の経験を踏まえ勉学に勤めております。

◆平成三十一年卒業

R・K

私はこの4月で二十歳を迎え、同時に大学生になりました。大人への第一歩を踏み、大学進学という新たな出会いがスタートしました。看護学生として精一杯頑張ろうと思えました。

◆令和二年度卒業

H・U

入学式が中止になり大学の授業もオンラインになるなど想像していたキャンパスライフとは、ほど遠い生活を送っていますが自分の学びたいことを好きだけ学ぶことのできる環境に満足しております。入学はゴールではなくスタートであるということをお忘れずに日々精進していく所存です。

同窓会総会の出欠返信はがきの近況報告欄に、たくさんのコメントを頂き有難うございました。各年代で、通学路、クラス内、授業、先生方、クラブ活動、友人たちとの思い出等、やはり新校舎になる前の円形校舎、緑の多い学園の思い出のコメントが多かったです。

そして、まだ卒業してから間もない年代の方々からの近況報告もあり嬉しく思います。新型コロナウイルスの影響により総会、同窓会の開催が出来なくなりましたが次回の会報にも近況報告を載せさせていただく予定であります。尚、ページ数の関係により一部の方のコメントのみの掲載をお許しく下さい。近況報告ご記入有難うございました。



2021 年度 中学校高等学校説明会日程

中学校説明会日程（要予約）

	日 程	開始時間
第1回オンライン	5月22日（土）	14：00
第2回オンライン	6月19日（土）	14：00
第1回	6月26日（土）	10：30
オープンキャンパス	7月24日（土）	10：00
第2回	8月21日（土）	14：00
第3回	9月25日（土）	10：30
第4回	10月16日（土）	14：00
第5回	11月20日（土）	10：30
第6回	12月2日（木）	10：30
入試体験会	12月18日（土）	13：30
第7回	1月15日（土）	10：30

高校説明会日程（要予約）

	日 程	開始時間
第1回オンライン	7月3日（土）	14：00
第1回	7月31日（土）	14：00
第2回	8月21日（土）	10：00
第3回	9月11日（土）	14：00
第4回	10月2日（土）	14：00
第5回	11月6日（土）	14：00
第6回	11月27日（土）	14：00
第7回	12月4日（土）	14：00

※中学校・高校の各イベントは約1か月前より本校HPからお申込みが可能です。定員に達した場合は締め切らせていただきます。ご予約をされていない方は入場できませんので、予めご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大やオリンピックの動向により、変更になる場合があります。

最新情報は随時ホームページにてご案内いたします。

卒業生子女入学金優遇制度

目白研心中学校・高等学校同窓生のお子様や
兄弟姉妹が、目白学園に設置する学校（目白研心中学校・高等学校、
目白大学、目白大学短期大学部、目白大学大学院）に入学される場合、
入学金が全額免除になります！

詳しくは下記入試窓口までお問い合わせ下さい。

（ただし目白学園幼稚園卒園生は対象外です）

▶ 大学、大学院、短期大学部の入試について

目白大学入学センター

TEL：03-3952-5115

MAIL：colkoho@mejiro.ac.jp

▶ 中学校、高等学校の入試について

目白研心中学校・高等学校 広報部

TEL：03-5996-3133

MAIL：jhkoho@mejiro.ac.jp



目白研心中学校・高等学校にお子様の入学をお考えの方へ

学校説明会等の日程は、目白研心中学校・高等学校のホームページからもご確認いただけます。

（開催日の一か月前よりホームページからお申込みが可能です）



中高進路指導部

主任 矢部 隆宜

進路指導部ではキャリア教育やコース選択、受験・学習指導を担当しています。進学校として、更なる発展を目指して様々な指導を実践してきました。

昨年度は新入試初年度、そしてそこに新型コロナウイルスの猛威が重なり、生徒にとって大変厳しい受験となりました。本校では休校期間中も必要な生徒にタブレットを貸し出し、オンライン授業を実施して最大限学習機会を確保しました。また、外部模試が中止になってしまった時は高3所属教員を中心に校内で模試が実施できるように準備をしました。

生徒には困難な状況だからこそ、最後まで諦めずに挑戦していくことを繰り返し伝えました。

その結果、合格実績は飛躍的に向上しました。この結果は目白研心高等学校創立以来、最も高い実績となっています。志望を下げずに挑戦校を受験したこと、中期・後期受験まで頑張ったことがこの実績を支えてくれています。諦めないことの大切さを

改めて実感させてくれた結果となりました。高い志を持って卒業後も学習を続け、見事第一志望へ合格した既卒生の方々の存在も大変大きなものでした。

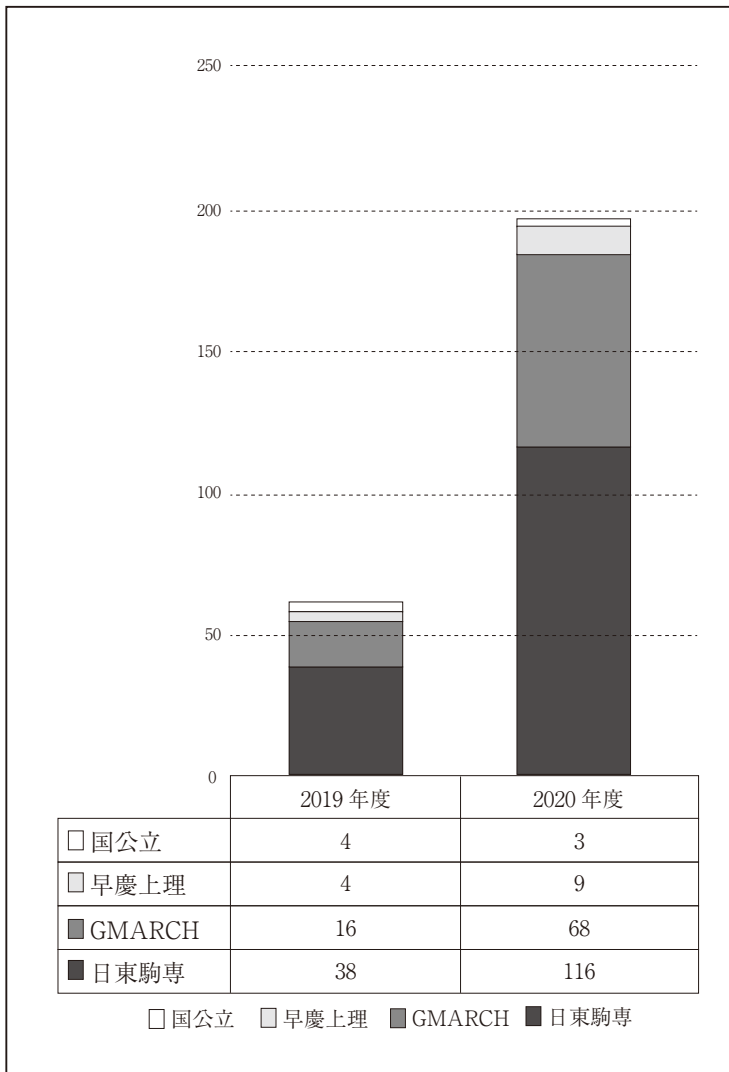
進路指導の一環として、卒業生の皆様に講演会等でご協力をいただくことがあります。

コロナ禍での依頼だったにも関わらず、ご協力いただいた卒業生には大変感謝しております。卒業後の皆様の経験を在校生に

伝え、彼らの人生の選択に貴重な助言をいただければと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願います。

昨年度は行事等も少なく、卒業生の皆様と再開する機会もありませんでしたが、落ち着いたらまた是非目白研心をお訪ねください。

昨年度の大学合格実績概要は左記の通りとなっております。詳細はHPをご覧ください。



研心トピックス

「ラクロス部 全国大会初出場」

本校ラクロス部「White Eyes」は、3月27日（土）に行われた『東日本5位決定戦』に出場し、2戦とも勝利をおさめ、初の全国大会出場を決めました。

『東日本5位決定戦』は全国大会出場の最後の1枠を決める試合で、伊奈学園総合高等学校、合同チーム（町田総合・国本女子・トキワ松）との2戦とも勝利を収めることができ、1994年に創部して以来、目標にしてきた「全国大会出場」を初めて勝ち取ることができました。

これからも「応援されるチーム」を目指して全力で取り組んでいきます！
引き続き応援よろしくお願いたします！





(※写真の QR コードをスマホで読み込むと映像が見られます)

学園創立100周年を記念して建設が進められていた「百年館(新8号館)」が完成しました。新宿キャンパスの中央に位置し、かつて円形校舎があった場所と重なります。地上5階地下2階、焦げ茶や黒のモノトーン色を採用して落ち着いた雰囲気醸しながら、一方でガラスを多用し、明るさと開放感で修学意欲と参加意識を高める作りになっています。

地下1階から3階までは講義室エリアで、教室のほかアクティブラーニングを促すラーニングラウンジを配すなど様々な工夫がなされています。4階5階は研究室エリアで廊下は幅広くオープンスペースとし、学部学科を超えた交流と対話の創出の場となります。

既存校舎へは1階、3階と地下1階で結ばれ、将来はキャンパス全体のハブ校舎としても活用可能な設計になっています。



1960年代のキャンパス。「百年館」の場所は左の円形校舎のあたりです。

住所・氏名等の変更時のお願い

同窓会では会報をはじめ、お知らせやご案内を郵送させていただいております。住所や氏名等に変更がある場合は、同窓会までお知らせください。その際、いただいた情報に不備がございますと、スムーズに作業ができません。毎年、どうしても情報を更新できない事例が生じております。そこで、以下に変更時の方法とお願いを記載いたしました。変更される場合は参考になさってください。

【変更方法】

1. インターネットに変更

目白研心中学校・高等学校同窓会ホームページ内
「同窓会住所変更フォーム」に必要事項を入力し
送信してください。

QRコード



サイトURL：<https://mk.mejiro.ac.jp/dousoukai>

2. 郵送・FAXに変更

次頁の「住所・氏名の変更および郵便物停止届」に必要事項を記入しお送りください。

郵送先：〒161-8539 東京都新宿区中落合4-31-1

目白研心中学校・高等学校事務室 同窓会宛

FAX：03-5996-3066



【次の点にご留意ください】

1. ご自身の卒業コード番号ご記入のお願い

卒業コード番号は宛名ラベルに記載されている「アルファベットと数字を組み合わせた番号」です。

＜例＞15A-〇〇〇（目白商業） B20-〇〇〇（延岡実践学校）
 C24-〇〇〇／D24-〇〇〇（目白女子商業）
 S40-〇〇〇／S60-〇〇-〇〇〇／
 H10-〇〇-〇〇〇／R2-〇〇-〇〇〇（目白学園、目白研心）

卒業コード番号が分からない場合は、卒業した年または生年月日をご記入ください。

2. 氏名ご記入のお願い

卒業後に氏名の変更があった場合は、「現在の姓」「卒業時の姓」をそれぞれご記入ください。また、当て字を使用されておりますと変更できない場合がありますので、卒業名簿の通り正確にご記入ください。



～よくあるお問い合わせ～

連絡したにもかかわらず、住所変更、郵便物送付の停止が反映されていません。



氏名または卒業コード番号が不明のため情報を更新することができません。

＜実例＞

- ・妻〇子／父〇夫は亡くなりました
 ➔お名前のみ記入、姓が未記入であるためどなたか不明である
- ・母は永眠しました
 ➔姓とお名前の両方が未記入であるため、母とはどなたなのか不明である
- ・住所変更
 ➔新住所のみ記入、氏名が未記入であるためどなたの変更か不明である
- ・姓の変更
 ➔卒業年度が不明、記入された旧姓が卒業時の姓と一致しないため調べがつかない

「氏名」と「卒業コード番号」を明記していただくと、作業が効率化します。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます

※本年は「総会ハガキの返送」はありません。

変更事項がありましたら次頁の「届」をお使いください。

※お預かりした個人情報は同窓会活動以外の目的では一切使用いたしません。

目白研心中学校・高等学校
同窓会 会長殿

住所・氏名の変更および郵便物停止届

以下のとおり変更しましたので届けます

卒業コード番号 (不明の場合は空欄)			
卒業学校 (○で囲ってください)	• 目白研心 • 目白女子商業	• 目白学園 (普通科、商業科含む) • 延岡実践学校	• 男子目白商業
卒業年月 (西暦・元号どちらでも可)	昭和・平成・令和 年 月 卒業		
生年月日 (卒業年月が不明の場合)	大正・昭和・平成 年 月 日 生		
フリガナ		フリガナ	
氏 名		旧 姓	
フリガナ			
新 住 所	〒		
電 話 番 号	自宅		
	携帯		
同窓会から発送するお知らせが郵送不要 (物故含む) の方はレを入れてください <input type="checkbox"/> 今後郵便物は停止してください			
通 信 欄			

- 卒業コード番号は宛名ラベルに記載されている「アルファベットと数字を組み合わせた番号」です
- この用紙を使用する場合は郵送または FAX にて以下の連絡先までご送付願います

【郵送先】 〒 161 - 8539 東京都新宿区中落合 4 - 31 - 1

目白研心中学校・高等学校事務室 同窓会宛

【FAX】 03 - 5996 - 3066

※この変更届をご使用の場合は、コピーまたは切り取ってご使用ください。

桐 陽 祭

日 程

9月18日(土)・9月19日(日)

9時～14時

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては規模の縮小、または中止となる場合もございます。
最新情報はホームページにてお知らせします

インフォメーション

退職された先生

鳥越 順子先生 (国語)
村上 詠子先生 (司書)

★目白商業の先輩の人生に学ぶことが多く、大変貴重な体験に基づきご執筆いただき感謝申し上げます。ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。

★昨年のハガキより抜粋させていただいた研心ミニレター。皆様からひとことをたくさんいただきました。続きは次号に掲載させていただきます。

★住所変更に関する記事を掲載しております。変更がございます場合には、参考にさせていただきます。卒業コード番号は、宛名ラベルに記載されています。

★皆様から「円形校舎は今でもあるのですか？」との多くのお問い合わせをいただきます。残念ながら、円形校舎は既に解体されましたが、その場所に「百年館」が新設されました。詳細については、紹介記事をご覧ください。

いつも同窓会の活動にご理解賜りましてありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



(昨年の総会の開催担当) 浜口瞳
(研心ミニレター担当) 大塚千恵子・安島利佳子
(住所・氏名等の変更時のお願ひ担当) 中島亮子・中島佑子

目白研心中学校・高等学校同窓会
令和三年度 同窓会会報 No.30

発行日…令和三年七月十日
発行…目白研心中学校・高等学校同窓会
住所…〒一六一一八五二二

東京都新宿区中落合四一三一一
電話…〇三―五九九六―三一一
FAX…〇三―五九九六―三〇六六

本書を無許可で転写複製することを禁じます。

印刷…株式会社 愛甲社